

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年8月11日

【四半期会計期間】 第42期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

【会社名】 シノブフーズ株式会社

【英訳名】 SHINOBU FOODS PRODUCTS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松本崇志

【本店の所在の場所】 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

【電話番号】 06(6474)1116(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 上田往紀

【最寄りの連絡場所】 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

【電話番号】 06(6474)1116(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 上田往紀

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第1四半期 連結累計期間	第42期 第1四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	8,772,977	9,360,458	36,061,333
経常利益 (千円)	215,144	305,947	822,288
四半期(当期)純利益 (千円)	154,109	170,724	422,095
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	144,351	168,917	407,039
純資産額 (千円)	9,502,821	9,623,878	9,524,958
総資産額 (千円)	18,832,686	18,153,646	17,889,283
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	9.45	10.99	26.10
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	50.5	53.0	53.2

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 第41期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社および子会社(株式会社エス・エフ・ディー以下、当社グループという)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、連結子会社であったシノプデリカ株式会社は、平成23年4月1日をもって当社が吸収合併いたしました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しく、電力供給の制約や原子力災害など、先行き不透明な状況となっております。

米飯加工食品業界におきましては、デフレ基調のなか低迷する雇用情勢や、一部原材料の高騰など厳しい経営環境が続きましたが、個人消費は緩やかな回復傾向にありました。

こうした状況下、当社グループでは、主力商品であるお弁当やおにぎりが堅調に推移いたしました。また、モンドセレクション金賞を受賞した「エビ・ムー ミックスサンド」など調理パンが順調に売上を伸ばすとともに、新たに菓子パンコーナー向けに「楽っくる(らっくる)ロール」の販売を開始いたしました。

生産面では、原材料費など徹底したコストダウンに加え、安全・安心な製品をお届けするため、品質・衛生管理の充実に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、93億6千万円(前年同四半期比6.7%増)となり、利益面におきましても、営業利益は2億7千5百万円(前年同四半期比34.1%増)、経常利益は3億5百万円(前年同四半期比42.2%増)、四半期純利益は1億7千万円(前年同四半期比10.8%増)と、増収増益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現金及び預金の増加を主因に前連結会計年度末と比較して2億6千4百万円増加し、181億5千3百万円となりました。また、純資産は、四半期純利益1億7千万円を計上する一方で、配当金の支払6千9百万円等により前連結会計年度末と比較して9千8百万円増加し、96億2千3百万円となりました。

(3) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループの研究開発活動については、米飯商品の競争激化にともなう、商品のライフサイクルの多様化、短縮化に対応できる商品づくりを基本にして、流通チャンネルに適応した商品開発、鮮度志向を考慮した商品開発ならびに食材の開発にも力をそそいでおります。

また、既存商品の改良・開発につきましては、ますます顕著になってくる消費者のライフスタイルの変化に適応する商品づくりを進めてまいります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,656,000
計	45,656,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,970,964	15,970,964	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数は 1,000株であります。
計	15,970,964	15,970,964		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日		15,970		4,693,422		1,173,993

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の発行済株式については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成23年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式 (自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 437,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,426,000	15,426	
単元未満株式	普通株式 107,964		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	15,970,964		
総株主の議決権		15,426	

(注) 「単元未満株式数」には、当社所有の自己株式978株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己所有株式) シノプフーズ株式会社	大阪市西淀川区竹島 2丁目3番18号	437,000		437,000	2.74
計		437,000		437,000	2.74

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)にもとづいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)および第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)にかかる四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,120,158	2,440,158
売掛金	3,455,089	3,553,056
商品及び製品	23,618	23,606
原材料及び貯蔵品	176,658	178,243
その他	532,306	641,644
貸倒引当金	6,260	6,730
流動資産合計	6,301,571	6,829,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,012,396	2,973,216
土地	6,263,794	6,263,794
その他(純額)	1,061,373	1,052,403
有形固定資産合計	10,337,564	10,289,414
無形固定資産	56,373	53,615
投資その他の資産		
その他	1,242,793	1,029,655
貸倒引当金	49,019	49,019
投資その他の資産合計	1,193,774	980,636
固定資産合計	11,587,712	11,323,667
資産合計	17,889,283	18,153,646
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,411,882	2,551,561
短期借入金	2,178,101	2,174,619
未払金	1,358,549	1,409,174
未払法人税等	107,078	19,671
賞与引当金	251,000	149,719
その他	304,512	373,067
流動負債合計	6,611,123	6,677,813
固定負債		
長期借入金	1,378,692	1,483,285
退職給付引当金	286,713	288,312
その他	87,794	80,356
固定負債合計	1,753,201	1,851,954
負債合計	8,364,325	8,529,767

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693,422	4,693,422
資本剰余金	3,958,242	3,958,242
利益剰余金	956,108	1,056,934
自己株式	93,064	93,162
株主資本合計	9,514,708	9,615,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,249	8,442
その他の包括利益累計額合計	10,249	8,442
純資産合計	9,524,958	9,623,878
負債純資産合計	17,889,283	18,153,646

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	8,772,977	9,360,458
売上原価	6,877,997	7,323,661
売上総利益	1,894,979	2,036,796
販売費及び一般管理費	1,689,183	1,760,900
営業利益	205,795	275,895
営業外収益		
受取利息	9	19
受取配当金	1,465	942
受取賃貸料	11,614	11,816
受取奨励金	7,050	21,550
その他	9,156	9,753
営業外収益合計	29,295	44,082
営業外費用		
支払利息	14,880	10,495
不動産賃貸原価	4,329	2,859
その他	737	676
営業外費用合計	19,946	14,030
経常利益	215,144	305,947
特別利益		
固定資産売却益	33,128	-
助成金収入	80,409	-
特別利益合計	113,538	-
特別損失		
前期損益修正損	2,514	-
固定資産除却損	7,103	1,750
固定資産売却損	14,619	-
保険解約損	18,852	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,025	-
特別損失合計	57,115	1,750
税金等調整前四半期純利益	271,568	304,196
法人税、住民税及び事業税	21,593	8,039
法人税等調整額	95,865	125,432
法人税等合計	117,458	133,472
少数株主損益調整前四半期純利益	154,109	170,724
四半期純利益	154,109	170,724

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	154,109	170,724
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	9,758	1,807
その他の包括利益合計	9,758	1,807
四半期包括利益	144,351	168,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,351	168,917
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
(1) 連結の範囲の重要な変更 前連結会計年度において連結子会社であったシノプデリカ株式会社は当社が吸収合併したことにより、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲から除外しております。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間にかかる減価償却費(無形固定資産にかかる償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	154,786千円	152,076千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の資源
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	57,244	3.50	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の資源
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	69,898	4.50	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

共通支配下の取引等

- (1) 対象となった結合当事企業の概要、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称及び取引の目的を含む取引の概要

対象となった結合当事企業の概要

名称 : シノプデリカ株式会社

事業の内容 : 米飯加工を行い、コンビニエンスストアへ販売を行っております。

企業結合日

平成23年4月1日

企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、シノプデリカ株式会社は吸収合併により消滅いたしました。

結合後企業の名称

シノプフーズ株式会社

その他取引の概要に関する事項

今後経営体制の一元化、一体化を通じて一層の効率化や合理化をはかることを目的としております。

- (2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)にもとづき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9円45銭	10円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	154,109	170,724
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	154,109	170,724
普通株式の期中平均株式数(株)	16,305,598	15,532,760

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月10日

シノプフーズ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川崎 洋文 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森村 圭志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシノプフーズ株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、シノプフーズ株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。